

病害虫発生速報

令和3年3月17日
第3号

対象作物：日本なし

発信元 山形県病害虫防除所
TEL 023-644-4241(内陸)
0235-78-3115(庄内)

題名：黒星病のりん片越冬量はやや多い！ 発病部位の摘除と生育に合わせた防除の徹底を！

1. 発生概況及び今後の予報

- (1) 前年の日本なし黒星病の発生量はやや多かった。
- (2) 地区予察圃場（酒田市）及び巡回調査圃場におけるりん片越冬量調査では、平均発病芽率はやや高い（表1、写真1）。
- (3) 向こう1か月の天候は、気温が高く、降水量は多いと予報されており、伝染源となる芽基部りん片や被害落葉からの孢子飛散時期が早まると推察される。

表1 りん片の平均発病芽率（%）

	本年	前年	平年
平均発病芽率	0.5	0.5	0.3

調査方法：各地点から採取した剪定枝30本について、先端から約30cmの部分を20℃温室条件下に置床し、分生孢子形成の有無を調査。

調査日：2021年3月5日（2月25日枝採取）

調査芽数：252～269芽/地点



写真1 芽基部りん片の黒星病の病斑



写真2 芽基部病斑
(りん片が堅固で容易に脱落しない)

2. 防除対策

- (1) 剪定枝や被害落葉を適切に処分し、園内の伝染源密度低下を図る。
- (2) 園内をこまめに見回り、発病部位（芽基部、写真2）は見つけしだい摘除し、適切に処分する。
- (3) 日本なしの生育状況をよく観察し、「発芽7日後」「開花直前」「落花直後」「落花10日後」の防除時期を失しないよう防除を行う。

農薬の使用に当たっては、農薬使用基準（適用作物、収穫前使用日数、使用回数等）を遵守するとともに、隣接地や周辺作物へ飛散しないよう十分留意し、農薬の使用後は防除日誌の記帳を行う。